



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第 142 号  
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和4年6月7日



【今月のピックアップ!】

① 障害? 障がい? 障碍?

【手話カフェ】

② ユニバーサルツーリズム

【イベント・募集】

③ 令和4年度 兵庫県盲ろう者向け通訳・介助員養成講座受講生  
募集

④ ちびっこ盲ろう者体験教室の開催

⑤ 令和4年度障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト  
作品展示・発表会の開催支援事業の募集(6月30日(木)締切)

⑥ 兵庫県障害者アートギャラリー2ND ANNIVERSARY「大きな  
作品展」作品募集(7月4日(月)まで)

【お知らせ】

⑦ 「兵庫県障害者アートギャラリー」6月の催し



① 障害? 障がい? 障碍?

兵庫県においては施策や組織名において「障害」の表記を用いて  
います。

「県庁では障害の「害」は、「害」の漢字を使うのですか？」  
と、尋ねられることがあります。

近年では、ひらがな表記や、「害」を使わない表記もあり、それぞれの立場や思いをもって使われているのだと思います。

兵庫県では障害福祉分野について意見を出し合う兵庫県障害福祉審議会において当事者の方々を交えて議論したところ、「「害」の字をほかの漢字やひらがなに変えることは、障害のある人が生活する上での様々な社会的障壁があることに対する社会全体としての認識・理解(社会的障壁の除去は社会の責務＝障害の社会モデル)をかえって曖昧にしてしまう」という意見が大勢を占めた結果を踏まえたものです。

将来は「障害」に代えて適切な言葉が使われ、障害者という呼称自体がなくなるべきと考えます。

しかし、それまでの間は「障害」の表記を用いることで社会にある障壁が取り除かれるように、施策の充実や差別解消のための啓発に努めていきます。

使い方は違っても、目指す先はみな同じ、ともに手を携え、一人一人が輝くユニバーサル社会に向けて歩んで行きましょう。

---

## ②【手話カフェ】ユニバーサルツーリズム

---

「ユニバーサルツーリズム」という言葉をここ数年よく聞きます。ユニバーサルツーリズムは、すべての人が楽しみ、高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行を目指すという考え方です。

おりしも「世界経済フォーラム」が、観光地としてどれだけ魅力的か、各国の競争力を比較した調査において、今年、日本は初めて世界1位になりました。

そのような日本で旅行を楽しむとき、聴覚障害の方にはユニバーサルになっているでしょうか。

聴覚障害の特性として「音声からの情報を活用できない」ことがあります。緊急時のサイレンや放送が聞き取れないので、災害時の対応が困難だとして乗り物に乗れない、イベントの参加を断られる、泊まりたいホテルに宿泊できないなどの対応が起こっています。

聞こえない人に災害時に情報を知らせることは以前から課題です。急に何かが起こった時に取る方法は、ほとんどが放送やサイレンなど耳から情報を得るものだからです。いつ起こるかわからないこと、めったに起こらないことに対する備えはなかなか優先されにくいです。でも、そのことが聴覚障害者がほかの人と同様に楽しめないことにつながっています。

命を守ることが最優先されるとき、聞こえない人を守る方法や、聞こえない人自身が自分を守る方法は、聞こえる人にとっても有効な手段となります。聞こえない人が来られたら、緊急時の伝え方について本人に尋ね、その置かれた状況で可能な方法をとること、それが合理的配慮です。そのような「だれ一人取り残さない」方法をそれぞれの業種業態に合った内容で確立されていくことが望まれます。

もう一つの特性は「音声によるコミュニケーションが難しい」ことです。受付でのやり取りがスムーズにできない、電話で変更や細かい点の確認ができないなどの不便の他、飲食店では注文の対応ができないからと入店を拒否されることもありました。

ユニバーサルツーリズムでは地図、イラスト、写真、ピクトグラムなどを活用することが推奨されています。飲食店では写真付きのメニューがあると誰もが注文しやすいですね。

音声の文字化アプリやコミュニケーションボードなどは聞こえる人からの話を「伝える」ことはできるのですが、聞こえない人からの質問や答えを、特に手話の場合、読み取ってくれません。双方向のコミュニケーションにはお互いが「伝えたい」「わかりたい」という気持ちを持つことが大切なのです。

---

### ③ 令和4年度 兵庫県盲ろう者向け通訳・介助員養成講座受講生募集

---

ひょうご盲ろう者支援センターでは、養成講座の受講者を募集しています。盲ろう者とは、目と耳の両方に障害がある人です。養成講座では基本的なコミュニケーション方法やガイドヘルプを学びます。盲ろう者の支援にご興味のある方は、是非お申し込みください。

- ◇開催日程 令和4年9月4日(日)～11月6日(日) 全9回
- ◇場 所 ひょうご盲ろう者支援センター
- ◇募集定員 40名(定員超過の場合は抽選)
- ◇締 切 令和4年7月29日(金)必着
- ◇受 講 費 無料(但し資料教材費 5,000円)
- ◇申込方法 下記ホームページにて詳細を確認のうえ、メールまたはFAXでお申し込みください。

#### ■お問い合わせ先(詳細は下記ホームページをご覧ください)

ひょうご盲ろう者支援センター

TEL.078-579-7601 FAX.078-579-7603

(月～金 9時～17時まで)

<http://hyogo-db.com/>

---

### ④ ちびっこ盲ろう者体験教室の開催

---

盲ろう者との交流会を開催します。盲ろう者は、耳も聞こえなくて、目も見えません。どうやって、お話するのでしょうか？実際に交流することで、盲ろう者のことをもっと知って下さい。参加の申し込みは不要です。時間内に自由にお越し下さい。

■内容

◇日時 令和4年 7月 31日(日)13:00～15:30(受付12:45)

◇場所 中山記念会館 1階 大会議室  
(神戸市兵庫区水木通2-1-9)

◇入場 無料

■お問い合わせ

特定非営利活動法人兵庫県盲ろう者友の会

神戸市兵庫区水木通2-1-9 中山記念会館301

TEL/FAX,078-579-7600

Mail [db-kobe@nifty.com](mailto:db-kobe@nifty.com)

---

⑤ 令和4年度障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト  
作品展示・発表会の開催支援事業の募集(6月30日(木)締切)

---

県内各地の障害者を支援する障害福祉サービス事業所及び法人が、ポストコロナの新しい生活様式に対応し、障害者が芸術活動で創作した作品を身近な地域で展示・発表できるよう、新型コロナウイルス感染症対策費を含めた展示会等の開催に必要な経費の一部を助成します。募集要項、申請用紙等、詳細は県ホームページをご覧ください。

■詳細はこちらから(県 HP)

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/surumiru/hojokin.html>

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail [universal@pref.hyogo.lg.jp](mailto:universal@pref.hyogo.lg.jp)

---

⑥ 兵庫県障害者アートギャラリー2ND ANNIVERSARY「大きな作品展」作品募集(7月4日(月)まで)

---

障害者の芸術作品を常設で展示する「兵庫県障害者アートギャラリー」では、開設2周年を記念し、8月3日(水)～7日(日)まで、兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリー本館1階展示室において、2ND ANNIVERSARY「大きな作品展」を開催します。

ついては、みなさんの作品を募集しますので、出展ご希望の方は県ホームページの「実施要領」をご確認のうえ、お申込みください。

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20\\_0000000009.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_0000000009.html)

■開催期間:令和4年8月3日(水)～8月7日(日)

※最終日は12時まで

■申込締切:令和4年7月4日(月)まで

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail [universal@pref.hyogo.lg.jp](mailto:universal@pref.hyogo.lg.jp)

---

⑦ 「兵庫県障害者アートギャラリー」6月の催し

---

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、6月30日(木)まで「いた

み杉の子ゆうゆう・フォーゆう・ホープゆう作品展」を開催しています。

色とりどりの紙で丁寧に作られたちぎり絵や、色鉛筆やペンを使いのびのび描かれた作品などをたくさん展示しています。

障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で描いたアート作品をどうぞご鑑賞ください。

■「いたみ杉の子ゆうゆう・フォーゆう・ホープゆう作品展 作品展」

と き 開催中～6月30日(木) 10時～18時まで

※最終日は午後12時閉場

ところ 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー本館1階  
(神戸市灘区原田通 3-8-30)

■7月1日(金)～「ライフスペース・プロペラ作品展」を開催します。

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail [universal@pref.hyogo.lg.jp](mailto:universal@pref.hyogo.lg.jp)

---

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで

兵庫県福祉部ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp

---